平成28年（2016）
阿づまの光
7月号・Julio

教主さまお作 灰釉茶盌 銘「万古」

【リオプレット土＋ヨルダン土＋マナウスの砂、台湾・ブラジルのマンゴー釉】

題字出口直日

通巻第568号
発行 大本東京本部
東京宣教センター
センター長 浅田秋彦
〒110-0008
東京都台東区池之端2-1-44
TEL 03-3821-3701
FAX 03-3821-5283
振替 00160-5-72625
URL http://oomoto-tokyo.com
Mail tokyohonbu@oomoto.or.jp

今月の聖言

教とは人の覚りのおよばざる
天地の神の言葉なりけり

出口王仁三郎聖師

み教えの実践リーダー

大本本部長　浅田秋彦

大本信徒の使命について、次のような教主さまのお示しがあります。

「邪霊の入る隙を作らぬよう心に不平不満を持たず、やさしく、あたたかく、相手をおもいやり、礼儀正しく、心を一つにそろえて、一人ひとりが責任をもって、み教えの真の実践リーダーとならせていただくことこそ信徒の使命ではないでしょうか」（平成15年　新年ごあいさつ）

「世界の多くの人が、まことの神さまのご存在とそのみ心を悟ることにより、また霊魂の不滅と永遠の生命を識ることにより、世界は大きく変わっていくことと確信しています。

そのためにも、自らが奮い立ち、み教えを学び、み教えの実践につとめて神さまのお光りを頂き、誠意と親切と忍耐の限りをつくして、信仰の歓びを家の内に向かって深く、外に向かって広くすることが大切だと思います」（平成21年　新年ごあいさつ）

み教えの実践リーダーとは、み教えの実践によって神さまのみ恵をいただき、その歓びを周りの方々にお伝えし、ともどもに幸福にならせていただく人であります。大本のみ教えは神さまのみ心ですから、これを知らない人々に伝えることによって、みろくの世が近づくことにもなります。

一方、聖師さまは「大本は大本の大本でもなく、また世界の大本でもなく、神様の大本、三千世界の大本であることを取違ひしてはならない」と示されています。

これは、大本が教団とか日本などの狭い枠にとらわれないということですから、私たちもその気概を持たなくてはなりません。み教えとともに、信仰の歓びをお伝えし、神さまの門戸までお導きさせていただくことが大切で、そこから先の入信をするかしないかは、神さまの御手にゆだね、淡々と、み教えを宣べ伝えることが大事だと思います。神さまのみ教えを世界隈なく伝える使命を持っているのが大本信徒であり、み教えの実践リーダーなのです。

oomoto 公開講座

世界平和の実現に向けて

～大本と平和～

国際愛善宣教課 主幹 田中雅道（たなかまさみち）

主神と救世主

大本の開教の意義は、集約すれば世界平和を祈るということです。

「世界国ぐに所どころに、岩戸開きを知らす神柱は沢山現れるぞよ」

（大本神諭・明治25年旧正月）

「神は元は一株であるから、神の道は皆一つであるから、しまいには皆一つに成るのであるぞよ」

（大本神諭・明治32年旧正月）

大宇宙の創造主神はただ一柱です。その主神のみ使いが、時代と場所をかえて現れますが、神の示す道は一つであるから、最後には一つになると宣言されています。ユダヤ教のモーゼ、キリスト教のイエス、イスラム教のムハンマドは、同一神の預言者であり救世主です。それぞれにヤハウェ、ゴッド、アッラーと神の呼び名は違いますが、元は一株であると示しています。万教同根は、大本の中心となる神観です。

出口王仁三郎聖師は「愛善の道につとむる大本は神と仏の区別を立てず」と歌に詠まれ、他の宗教の教えや神仏を、区別してはいけないと戒めています。全ての宗教は、救世のための教えがあるので、太陽の光が全ての人に注がれているように隔てはありません。

いま宗教は、本来の使命に立ち返らなければなりません。神の御名によって、人の命を奪い、血を流すことは本来あるべき姿ではありません。

一つの世界と共通語を目指して

大本・人類愛善会は、「一つの神、一つの世界、一つの共通語」を合言葉にしています。一つの世界は世界連邦運動、一つの共通言語はエスペラントを指します。

国際連合は英語でUnited Nationsといいます。これは第2次世界大戦の戦勝国のことです。戦争が終わっても、そのまま引き継いでいる形になっています。しかも5大国は拒否権をもっていますし、任意団体なので拘束力がありません。国連に紛争を解決する力はないのです。結局は国益が優先されてしまいます。ですから軍隊のいらない「世界連邦国家」でなければならない。これが大本・人類愛善会の目指す理想世界です。

言葉の壁は大きいです。EUでも公用語を一つにしぼり切れていません。フランスやドイツでは英語を国際共通語にすることに抵抗があります。しかし、エスペラントであれば何の問題もありません。なぜなら、自国の言葉を捨ててまで、エスペラントを使用するという考え方ではないからです。それぞれの国の言語を尊重し、文化を認め合うのがエスペラントの精神です。

道院との交流

大本の宗教交流、宗際活動は中国から始まりました。中国の山東省に道院・世界紅卍字会が開かれました。大正12年（1923）、道院でフーチという神事により、関東大震災が預言されます。義援金と米が日本に送られました。さらに「日本に道院と同一神を祀る教団があるから提携せよ」と神示が下ります。道院の使節は、王仁三郎聖師と出口すみ子二代教主に面会し、これが大本と道院の提携のはじまりとなりました。

その後、大正14年（1925）に北京で「世界宗教連合会」を発会し、大本は中国のキリスト教、イスラム教、仏教をはじめ、宗教者と交流します。さらに人類愛善会を設立し、海外の宗教教団と交流をはじめますが、大正10年、昭和10年の大本事件、そして第2次世界大戦のため中断を余儀なくされます。

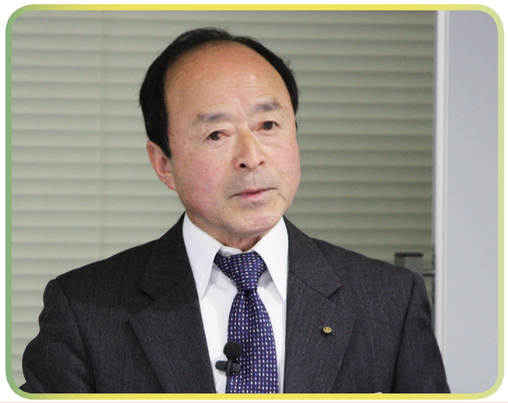
時代を経て、平成25年（2013）出口紅教主をはじめとする大本の一行が、道院の台湾総主院を訪問しました。出口紅教主の道院名は「安徳」です。「安徳に慈統宗主」を命ずるとフーチに示されます。「慈統宗主」は、世界紅卍字会の総裁を意味します。そして、「達大化」と書画壇が下付されました。「大化に達する」、つまり「大きな変化に到達した」という意味かと思います。いよいよ世界平和の世が来るという変化の佳節が到来したという神の宣言です。

芸術から生まれた宗際活動

昭和47年（1972）、フランスのセルヌスキー美術館で「出口王仁三郎とその一門の作品展」が開催されました。当初は、このパリ展で終わる予定が、ヨーロッパ各所の美術館館長から依頼を受け、イギリス・ベルギーなどヨーロッパ各地で引き続き「作品展」が開かれることになります。

そして、昭和50年（1975）にはアメリカに渡り、ニューヨークの聖ヨハネ大聖堂の美術館で「作品展」が開かれることになりました。この教会は世界で2番目に大きいゴシック建築様式で、観光の名所にもなっています。「作品展」開催にあたり、聖ヨハネ大聖堂で、大本式による祭典が執り行われました。当時、朝日新聞社長の原清さんが「ありえないこと」と驚いたそうです。学者の梅棹忠夫氏は「聖なる空間の共有」と高い評価をされました。

その2年後には答礼として、キリスト教の礼拝式が大本のみろく殿（京都府綾部市）で行われました。大本の信徒も「アーメン」と唱え、聖歌を一緒に歌いました。最後にキス・オブ・ピースという合同礼拝が行われ、国と宗教を超えた交流がなされたのです。



ダライ・ラマ14世

ダライ・ラマ猊下（げいか）はチベットの国王であり、チベット仏教・ラマ教の教主です。観世音菩薩の化身として、衆生救済のために地上にお降りになったとされる方です。1959年に中国共産党がチベットを侵略したため、ダライ・ラマ14世はインドに亡命します

昭和54年（1979）、大本の代表がダライ・ラマ14世のいる、インドのダルムサラを訪問しました。私も同伴し、猊下の前で仕舞を舞い、薄茶を点てて差し上げました。とてもユーモアのある方という印象を受けました。

翌年、京都で「世界連邦日本仏教委員会」が開かれ、主催者側がダライ・ラマ猊下を招待しました。猊下は大本に行きたいとおっしゃって、スケジュールの合間に、亀岡市の大本本部に来苑され、万祥殿（京都府亀岡市）でごあいさつされました。

イスラムとの交流

平成3年（1991）にはシリアのイスラム法学最高権威者である、アハマド・クフタロ師との交流がありました。アラビア世界はイスラム法（シャリアー）によって裁かれます。クフタロ師は、日本でいうと最高裁判所の判事ということになりますでしょうか。

クフタロ師からコーランのお話を詳しく聞きました。「宗教に強制があってはならない」、「多神教徒のなかに、あなたに保護を求める者があれば保護し、アッラーの言葉を聞かせ、その後彼を安全な場所に送れ」と書かれてあるそうです。

さらにクフタロ師はこう続けました。「あなた方は改宗する必要はありません。大本の信仰はそのままイスラムの信仰です」と。まさに万教同根の考え方ですね。同一の神さまを礼拝する信仰者として認め合ったのです。

そして、同信の徒として聖地メッカへ連れていただきました。イスラム教徒は16億人いると言われますが、ほとんどの教徒は聖地メッカの参拝が叶いません。ですから、私たちがメッカのカーバ神殿に参拝すると聞いて、大勢の人から「代わりにお祈りしてきてください」と頼まれました。コーランに書かれてあるとおり、縫い目のない白布を2枚纏って、メッカにお参りさせていただきました。

大本ローマ支部の開設

平成27年（2016）、大本のローマ支部が開設されました。設立に尽力したのがイタリア人青年のニコラ・コラオ氏で、ローマ教皇の末裔（まつえい）です。これまで何度も大本の聖地に参拝し、研さんを積まれ、8年前に入信しました。10月24日に出口紅教主ご臨席のもと開設奉告祭が執り行われました。

今から50年前に、第二バチカン公会議が開かれ、キリスト教も、ユダヤ教も、イスラム教も同一神であり、隔てなく神の救いが下されると認め合いました。50年を記念して、この年の10月26日から28日の3日間、国際会議が開かれ現教主も参加され、フランシス・ローマ教皇に接見しました。

さかのぼると、昭和25年（1950）に、ローマで世界連邦の会議があり、出口すみ子二代教主は「ローマの庭の岩戸開かむ」と言われ、ローマ行きを強く希望されましたが、実現しませんでした。65年の時を経て、現教主がローマに渡り、フランシス教皇と接見されたのです。

実はこの年の12月8日に、教皇は「愛と赦しの聖なる年」と発表され、サン・ピエトロ大聖堂の救済のための特別な扉である、聖なる扉が開かれました。5つある扉の内、この扉は普段塗り固められ閉ざされています。12月8日は聖マリアの祝日だそうです。まさに「岩戸開き」を感じさせる出来事でした。

掲載文は、平成28年3月16日に航空会館（港区新橋）で開催した「大本公開講座」講演録の要旨です。

東光苑月次祭

東光苑月次祭・人類愛善会創立記念平和祈願祭・市杵島姫命例祭は6月12日、午前10時30分から、斎主・猪子恒東京宣教センター次長のもと執行され、330人が参拝した。

祭員は茨城主会、伶人は二絃（ふたつお）の会関東支部、大本神諭拝読は福井温彦埼玉主会長、添釜は宇野社中が担当した。

祭典後、浅田秋彦本部長があいさつに立ち、5月にタイで開催された『人類愛善会国際ネットワーク第一回国際集会』について「25カ国から約200名が参加して開催された。われよし・つよいものがちの混迷の世界を、人群万類愛善・万教同根の思想が世界へ広がり行き、光明世界を実現するよき機運を感じた」と、愛善運動の明るい展望を語った。

その後、AKPイバラキ（茨城主会）による愛善歌「信仰の妙諦」が奉納された。

愛善歌「信仰の妙諦」が、アカペラによる混声合唱で奉納された（AKPイバラキ）

関東教区 少年夏期学級開催一覧

茨城主会
期　日　8月19日（金）～21日（日）
会　場　上小川 やなせ
連絡先　椿 眞木枝（080-4322-5155）

埼玉主会
期　日　7月30日（土）～31日（日）
会　場　民宿「川波」（飯能市白子）
連絡先　髙野　清（090-5795-2296）

千葉主会
期　日　8月20日（土）
会　場　佐倉市草ぶえの丘
連絡先　近藤雅貴（080-5060-7347）

東京主会
期　日　7月23（土）～25日（月）
会　場　伊奈キャンプ村
連絡先　貴堂 文奎（090-4418-4240）

神奈川主会
期　日　7月17（日）～18日（月）
会　場　丹沢湖ロッヂ
連絡先　長友 芳之（090-6170-6027）

大本公開講座

「第160回大本公開講座」は、6月15日午後7時から、港区新橋の航空会館で開催され、西山桂一郎大本青年部長が「祝詞のこころ～感謝と祈り～」と題して講話した。参加者は35人（内、一般12人）。

講師は言霊について、「大宇宙は主神のスの言霊から五大父音が生まれ、創造されている。祝詞の言霊にも一つひとつ意味があり、感謝と祈願・讃美の心を持って、奏上させていただくことが大切」と述べた。

参加者からは、「大本の祝詞の解釈は大変興味深く参考になった（男性・一般）」「明日からの祝詞奏上に対する気持ちを新たにすることができた（信徒・女性）」等の声が寄せられた。

●着任あいさつ

椎野（しいの） 恭三（きょうぞう）（祭務課主幹）

東京本部へは3度目の赴任です。懐かしく思い出の詰まった当地でご奉仕できること嬉しく思っております。この度は祭務課ということで、心新たに務めさせていただきたく存じます。大和合を旨に、お引き立て賜りますようお願いいたします。

柿崎（かきさき） 哲男（てつお）（愛善宣教課主任）

亀岡・天恩郷祭務課より愛善宣教課に赴任いたしました。初めての東京勤務で不慣れではありますが、関東教区の皆様のご指導のもと、日々のご奉仕に邁進させていただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

大本東京本部ホームページ
URL http://oomoto-tokyo.com

東光苑祭典・行事予定

7月
10日（日）午前10時30分執行
東光苑月次祭
20日（水）午後7時～8時30分
大本公開講座（航空会館・港区新橋）
講題　神と人の関係～人は神の子神の宮～
講師　中里洋（教学研鑽所事務局員）

8月
7日（日）午前10時30分執行
開教百二十四年　瑞生大祭遥拝祭
8日（月）夕拝時
神集祭遥拝（初日・旧7月6日）
14日（日）午前10時30分執行
東光苑月次祭・市杵島姫命例祭
神集祭遥拝（最終日・旧7月12日）
17日（水）午後7時～8時30分
大本公開講座（航空会館・港区新橋）
講題　大本の霊界観
～目に見えないものを信じて生きる～
講師　鈴木林太郎（愛善宣教課主事）